

「一人」は「ひとり」にあらず（城南中生に期待する）

校長 赤木 完治

「一人」は「ひとり」にあらず！

本年度最初の全校朝礼で私は、新入生を初めて迎える集会でもあるので、「一人は、ひとりではない！」というお話をしました。最初、きょとんとしていた生徒たちは、やがて首をかしげ、「一人は一人でしょ…」という顔をして静かに私を見つめていま



した。一人という字は、数字の「一」に「人」と書きます。ここで注目したいのは、「人」。これは1を支えているべつの一が支えてできた字とされています。ということは、「人」がついている「一人」は支えられて頑張る「一」ということになり、数の「ひとり」ではないのです。こじつけかも知れませんが、中学校の皆さんには大切なこと。悩みがないと言えましょうそになるでしょう。でも、あなた方は決して「ひとり」ではありません。周りをよく見てください。保護者や友人の皆さんはもちろん、学校の先生や地域の方々も、皆にとっては人生の先輩です。何でも聞いてみましょう。この時期、悩むのは当然です。「どうせ分かってもらえない。変わらない。」ではなく、いろいろな経験の中で、少しずつ自分が変わる努力もしてみましょう。それが、やがて自分が大人になった時、夢を語る原動力となるのです。一緒に頑張りましょう！

【是非、学校へ来てください（行事案内）】

本校では「携帯・インターネット安全教室」「スケアードストレート体験教室（スタントマンによる交通事故模擬体験）」なども含め、学校公開を盛んに行っております。通知連絡は、お子様を通して随時行っておりますが、是非、本校まで足をお運びください。5月末には公開

で、「命の支え合いを学ぶ授業」も全校体制で実施いたしました。どの行事においても子どもたちは、本当に素直な姿勢で授業に参加してくれます。お忙しい折とは存じますが、今後も各種学校行事が予定されています。皆様のご来校を、職員一同、心よりお待ちしております。

【「期待しています！」城南中部活動】

いよいよ運動部は「学校総合体育大会さいたま市予選会」がスタートします。一方、文化部は様々な出品やコンクール出場等が始まる季節となりました。私は、毎年この時期になると思い出す言葉があります。それは、『ONE FOR ALL, ALL FOR ONE』という言葉です。これは直訳すると、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という意味です。本校の部活動は、小規模校であるにも関わらずどの部活動も本当によく「協力・努力・練習」をしています。当たり前の話ですが私は、「これだけ頑張っているのだから是非勝たせてあげたい！」「勝って欲しい！」という気持ちで一杯です。ここでいう私の「期待」は、ただ単に勝つということだけではありません。「城南中生として、しっかり胸を張った試合をする！」ということです。最後まであきらめないこと。伝統ある城南中の「諦めない・止めない・くじけない」姿を見せてください。皆さんの活躍に心より「期待」しております。

花を【咲かせ！城南桜（城南中生）！】

みごとな「城南桜」を咲かせてきました！

5月18日（水）～20日（金）の3日間は、3年生の「京都・奈良修学旅行」でした。内容は、とにかく素晴らしいの一言。集団行動はもちろん、様々な場面で本校の誇りである「思いやりやさしさ」ある行動・発言がみられました。保護者の皆様のご協力にも感謝！3年生はもちろん、今後、更に成長する本校の子どもたちの活躍に、ご期待ください！